

交通ルールを守り、マナーを身につけよう

今日も

元気に行ってきます！

新年度を迎え早1カ月。新入学の児童や生徒が各学校へ通学しています。ドキドキワクワクしながら、小学1年生はランドセルを背負い、中学1年生は自転車に乗って、これまでと違う道を通っています。

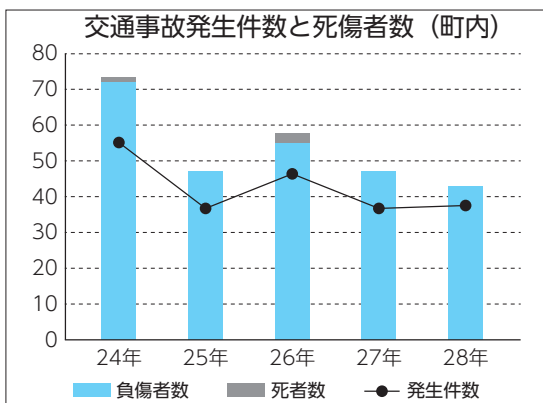


▲横断歩道は手を上げて渡ろう(4/10 笹川小近く)

直近5年で町の交通事故 負傷者数は微減

学校までの指定通学路は、学校が決めたルートです。先生方やPTAの役員、警察、地域の実情に合わせて安全なルートに決まっています。しかし、実際には交通量が多い個所や歩道が狭い場所など、危険はまだ残っています。

町内での交通事故負傷者数は、平成28年度43人と直近5年で最少だったものの、事故件数は38件と横ばいで推移しています。また、千葉県で見ると、平成29年中の交通事故死者数は154人で、全国ワースト5位という状況です。



出典:交通白書(千葉県警察本部)



▲石出小学校での自転車教室

交通事故防止を呼びかける 交通安全協会

町の交通安全協会は、交通ルールの遵守と正しい交通マナーを習慣づけ、交通事故防止を図ることを目的に、4つの分会(神代・笹川・橋・東城)で、現在52人が活動しています。

交通安全対策として、教育活動や通学の交通指導のほか、夜間街頭監視、交通整理、広報・啓発運動、カーブミラーの点検・清掃などを行います、広く町民の安全を図っています。

特に、子どもたちを交通災害や犯罪から守るためには、多くの人のやさしい目が必要です。子どもたちが安全に登下校できるよう、温かい見守りをお願いします。



▲春の交通安全運動での啓発活動

「町から1件でも 交通事故を減らし 悲しむ人をなくしたい」

町から1件でも交通事故を減らしたい。悲しむ人をなくしたい。そのためには、啓発活動が大切だと思っています。

登下校する子どもの人数も少なくなっています。見守りは防犯効果もあります。学校やPTAの皆さんだけでなく、地域の一人一人が意識してほしいです。

子どもたちは、交通ルールを守り、マナーをきちんと身につけ、登下校してほしい。もちろん大人も同じです。子どもたちのお手本となり、車や自転車の運転、歩行をしてほしいですね。

平成7年から交通安全協会の役員として活動しています。主に、交通安全運動時の街頭啓発や巡回広報、交通指導、イベント時の交通整理、自転車教室での指導などを行っています。

交通安全の大切さを改めて知ったのは、私が35歳のとき。父が交通事故に遭い、8年入院し亡くなりました。父がお世話になった千葉療護センターは、自動車事故による患者を専門に治療する病院で、20歳くらいの若い青年が苦しんでいる姿を見て、さらに胸が痛み、とてもつらくなりました。一瞬の出来事で将来が不意に消えてしまいます。



小見川交通安全協会東庄町支部
支部長 掛巢 博行さん(小南)

ご家族の方へ 町交通指導員から交通安全のポイント



立ち止まる、よく見る、無理しない 3つの言葉でルールを確認

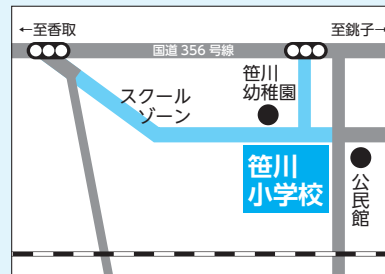
子どもの交通死亡事故のうち、例年、全国的に7歳児童の被害が突出して発生しています。事故の特徴としては、通学に慣れてきたころ、自宅付近の道路や、帰宅後の時間帯に多く発生しています。

また、子どもの事故の多くは飛び出しによるものです。交差点では、必ず止まって安全確認をすること、道路には飛び出さないことを、日ごろから指導しましょう。

交通安全は家庭から

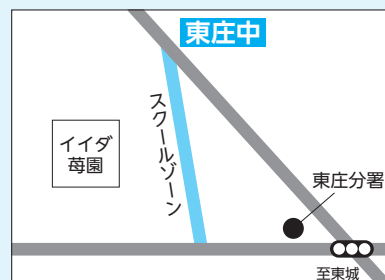
お子さんを交通事故から守るためには、大人が手本を示して、繰り返し分かりやすい言葉で理解させることが大切です。「危ない」「気をつけなさい」という抽象的な言葉よりも「なぜ危ないのか」「どう気を付けたらよいか」など具体的な言葉が効果的です。

また、お子さんが自転車に乗っているときは、命を守るために必ずヘルメットを着用させましょう。そして、ルールを知っているだけでなく、守ることができるように、ご家庭での声かけをお願いします。



笹川小学校前は7:00~8:00、(軽車両を除く、土・日・休日を除く)は通行禁止です。

**ご注意ください！
スクールゾーン**



東庄中学校近くは7:00~8:00、15:00~17:00の通り抜けはご遠慮ください(努力義務)。